



←新ホームページ

## 「仲間」

校長 菅谷 和孝

過日、11月7日(木)に、本校の合唱祭が三芳町文化会館(コピス三芳)で開催されました。どのクラスも今までの成果を発揮し、唯一無二の素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。特に3年生の歌声は圧巻で、中学校生活の最後の合唱祭での歌声とあって、そのクラスも心のこもった感動する歌声でした。しかし開会式でもお話ししましたが、合唱祭という名称ですが審査があります。一生懸命な素晴らしい合唱を奏でてでも結果として順位はついてしまいます。芸術ですので、スポーツとは違って、目に見えた得点や記録ではない方法での採点となります。審査をしてくれた先生もおっしゃっていましたが、どのクラスも甲乙つけがたい素晴らしい演奏であったことは間違えありません。また、結果が分かればノーサイド。賞を獲れなかったクラスも、本気でやったからこそ、他のクラス(相手)を称えることができる姿にも感動しました。

このように素晴らしい成果で終わった合唱祭。初めてクラスで歌った時、曲が決まったばかりの時は、このような歌声ではなかったはず。なかなか音程がとれなかったり、曲のイメージを表現できなかったりしたのではないのでしょうか。伴奏者に関してはピアニスト(個人での演奏)ではないので、指揮者がとるリズムに合われたり、クラスのハーモニーに合わせたりする練習も大変だったと思います。指揮者に至っては、そのすべてをまとめ、クラスの力を発揮させるための努力は計り知れません。もちろん、パートリーダーやそれぞれのパートで歌った他のメンバーの努力があってからこそだと思っています。そして、突出したスーパースターがいて、1人だけ突っ走ってもバランスはとれません。クラス1人1人が互いのこと、クラスのバランスを考え、支えあったからこそ生まれた素晴らしいハーモニーだったのです。まさに、「仲間がいて完成する芸術」だとわたくしは思います。藤久保中学校の生徒の皆さん、本当にありがとう、そしてお疲れ様でした。

3年生は大きな行事が終わり、いよいよ受検(験)に向けた勉強へとシフトしていく人も多いかと思います。今まで一緒にプレーしてきた部活仲間。今まで共に切磋琢磨してきた同級生。1つの行事を成功させるために協力し合ってきたクラスメイト。厳しいことを言いますが、今まで小学校から共に努力して協力してきた仲間ですが、受検(験)は対戦相手となります。もちろん、全員が第1志望に進むことを1番望んでいます。しかし、合格できる人数は決まっていますので、自分の努力次第では叶わないこともあるでしょう。受検(験)はみんな不安です。ですからみんな勉強(努力)するのです。不安を少しでも軽減させるために頑張るのです。相手が今どれくらいの力をつけているのか。どれくらい頑張っているのか。目に見えないのでわかりません。しかし、同じ不安を抱えているのは自分だけではありません。今年受検(験)する人はみんな同じです。目指している学校(進路)は違いますが、卒業後の進路に向けてという目標に関しては同じです。大変かもしれませんが、今、他のみんなも頑張っているときに頑張った方が、大人になってから「自分だけ」と思いながら頑張るより、ずっと努力する力や励みになります。

私自身も進路決定とは別に、3歳から習っていた水泳で同じような経験があります。水泳は個人競技とよく言われ、「個人競技をやっているから自分勝手なんだ」と偏見のような物言いをされたことがあります。しかし、私が高校の時の水泳部顧問であった先生に「水泳は団体競技。辛い練習も同じプールでみんな練習しているから頑張れる。1人だとサボりたくなるだろ。また、学校対抗で得点も競っている。自分のできることをチームのために、応援してくれている人々のために努力しなさい」と言われたことがあり、今となっても私の教員人生の礎になっている言葉です。「仲間」がいるから頑張れる。「仲間」のために頑張れる。

1年生や2年生も必ず通ることですので、来るべき定期テストに向けて頑張ってください。藤久保中学校の教職員も藤久保中学校という仲間のために全力で応援します。